

【公益社団法人小樽法人会会長賞】

イメージの変化

小樽市立望洋台中学校 二年

繁在家 海

「なぜ税金を納めなければならないのか。」「その分で自分たちの欲しいものを買うことができるといいのに。」

つい最近まで私は税金のことをこのように思っていました。しかし、テレビで外国では医療費が高く、病院に行きたくても行けない人がたくさんいるということを知りました。日本では考えられないことで驚きました。そして私は、日本と外国では税の使い方はどのように違うのか気になりました。

日本では普通、医療費は三割負担ということは何となく知っていましたが、ほかの七割は税金で賄われていることを、あまり知りませんでした。外国にももちろん、医療費を税金で賄われているところもあります。反対に全額負担などのところがあります。その為貧しい人は病院に行くことができないのです。

日本では税金は、仕事をしている人たちの所得税や、私たちが何か買うときにかかる消費税、住民が住んでいる都道府県、市区町村に納める住民税、自動車を持つている人にかかる自動車税など、他にもたくさん税があります。私は消費税と所得税は知っていましたが私の知らないたくさん税があり、とても驚きました。これらの税は国が

国民の生活を支える社会保障や、国の借金を返すことや、借金の利子を払うための国債費などとして使われます。私に気になっていた医療費は社会保障の制度の一つです。社会保障の中には他にも、年金や、社会福祉、介護、子育てなどがあります。一方、アメリカなどでは消費税が〇パーセントで、所得税も日本に比べると低いです。その分、医療費が自己負担になるのです。

私は今、祖母と一緒に住んでいます。祖母は身体障害者なので身体障害者手帳を持っています。その為、タクシーを無料で乗れる券や、ゴミ袋を無料で貰っています。

私は、税金にはあまり良いイメージを持っていませんでした。もし税金というものがなければ、医療費が高くなるのはもちろん、火事が起きても消防車が来ない、ゴミの収集がないため町がゴミであふれるなど、今のように安心して生活することはできません。消費税が生活必需品以外は十パーセントになり、少し不満を持っている私がいましました。今後は、税金は私たちがより良く生活できるように使われていることを理解し、生活していこうと思います。